

## 声は届いていますか

「声を届けよう」が、今年度のスローガンです。皆さんの授業中の声はどうですか。授業中に発表するとき、教室中に聞こえる声で話すことができますか。人は、ある程度の自信がないと、声は小さくなってしまいます。声は小さすぎると、相手には聞こえません。すなわち、届きません。自分の考えや意見を届けることができなくなってしまいます。

生徒会活動や学級での話し合いでは、どうですか。10月21日（土）に野田中学校の文化祭である「王梨音祭」が開かれます。ここでは、校内合唱コンクールが開催されます。皆さんの学級の歌声が体育館中に響くわけです。また、生徒会企画のコーナーがあります。生徒会本部役員を中心に、話し合いを行い、素晴らしいアイデアを出してもらいました。生徒の声为王梨音祭を盛り上げることになります。

中体連選手激励会では、皆さんが歌う応援歌を聞かせてもらいました。「よかったなあ」野田中学校の応援歌を初めて聞きましたが、いい歌だと思いました。ぜひ、これからも、野田中学校の伝統として、歌い継いでいきたいものです。今から合唱コンクールの各学級の歌声も楽しみです。

声を届けるのは、普段の生活でもよくあることです。友達との会話もそうです。人間関係では、相手に届ける言葉が重要になってきます。自分の思い通りに伝わらないことは、よくあることです。「なぜ、伝わらないのだろう」「なぜ、わかってくれないのだろう」と思ったことはありませんか。日本人が、日本人に、日本語を話しているのに、わかってもらえないのです。

私たちは、もう少し、相手に伝える、わかってもらおう努力をしなければなりません。皆さんの場合、まずは、授業中です。皆さんの学校生活の多くは、授業です。発言が単語、一つの言葉だけにはなっていないませんか。発表が、文になっていないのです。これは、大人にも見られる傾向です。

文が続くと、文章になります。ぜひ、授業中に、文章で話す努力をしてみてください。きっと、相手に届くはずですよ。自分の考えや意見を理解してもらえないはずですよ。授業では、他の人の考えや意見を聞くことができます。だから、自分の考えや意見を広げたり、深めたりできるわけです。これが、授業の醍醐味（だいごみ）です。

この1学期の皆さんの声は、どうだったのでしょうか。声は届いていたのでしょうか。2学期からは、歌声を中心に、皆さんの声が響きわたり、思いが伝わることを願っています。

\* 醍醐味（だいごみ） 物事の本当のおもしろさ。深い味わい。